

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1023 健康相談事業(補助金分)	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	240	保健事業
行革大綱の重点事項番号		7	細々目	52 健康相談事業(補助金分)
担当部課	コード	653000	担当者氏名	小田真規子
	名称	阿山支所住民福祉課		
			連絡先	43 - 332 (内線)

**事務事業の概要(Plan)**

対象(誰を、何を)	40歳以上65歳未満の市民
成果(どうする)	自らの健康を自らが管理できるようになる
根拠法令・要綱等	老人保健法
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業内容	健康問題に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行い正しい知識の普及を図る。 各地区における健康相談の開催 個別相談(電話、面接)
社会情勢の変化等	平成18年度より65歳以上の高齢者対象の事業は一部介護保険法に基づく地域支援事業に編成された。65歳未満の壮年期対象の事業も糖尿病などの生活習慣病予防のための個別への対応の強化が求められている。本事業の対象がH18年度から40歳から65歳未満になり、各地区巡回の健康相談は高齢者が多く対象外となった。健康情報が氾濫している中で自分の健康管理にあった正しい情報の選択を一人ひとりが迫られている。

**整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)**

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

**運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)**

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
健康相談来所者数	目標	人	820	820	700	700
	実績		560	687		
健康相談実施回数	目標	回	40	40	50	50
	実績		32	55		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
健康相談 来所者数		各地区での来所者数とする	人	目標	820	820	700
				実績	560	687	
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	142	162		70		70		
Aの財源内訳	国庫支出金	21	21					
	県支出金	21	21					
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	100	120	70	70				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	3,742	3,762	3,670	3,670				

**事務事業の評価(Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を <b>80%以上100%未満</b> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

**昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況**

改善策	健康相談の機会を広く周知し、市民自らの健康管理に役立てられるようにする。
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 相談者の数もほぼ目標を達している。相談から医療につながったケースも多い。

**今後の方向性(Action)**

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b> 【理由】 保健師が健康相談や個別相談により、必要な指導を行う。継続する必要がある。
現時点における課題、その他	今後も継続して相談窓口を開設する。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	